

株式会社ミックス

**M i K S**<sup>inc</sup>

MIKS inc. creates creativity to make Linnas' "We Design The And Place."  
Brighter with local culture.

会社紹介資料

2024.03 UPDATE

Part 01

# Brand Vision

ブランドビジョン

# ブランドビジョン

Brand vision

## MiKS inc.

ブランディングデザインを基軸に、  
地域の価値をより輝かせるお手伝いをするクリエイティブファームです。

### らしさを掬う、なぜを問う。

ローカル金沢を拠点に、 僕たちはデザインので革命を起こすことができると信じています。

場所を定義しない居心地の良い豊かな日常を“アンドプレイス”と考え、  
僕ら自身もアンドプレイスで暮らすなかでブランディングデザインを基軸に価値を提供していきます。

ローカルの当たり前や常識に対して、なぜ？(MiKS, Why?) と問いかけ続け、  
ひと、サービス、ライフスタイルを混ぜるキッカケとなるような、より良い価値を提供していきます。

Part 02

# Approach

アプローチ

# アプローチ

Approach

## Linnas Group



関連会社  
↔



## 株式会社MiKS

ホテル運営を基軸に、  
地域のHUBを創りプロデュースするまちづくりカンパニーです。

ホテル・メディア・ワーキングスペース・カフェ etc.

ブランディングデザインを基軸に、  
地域の価値をより輝かせるお手伝いをするクリエイティブファームです。

デザイン・ブランディング・インテリア・パッケージ etc.

and more

# アプローチ

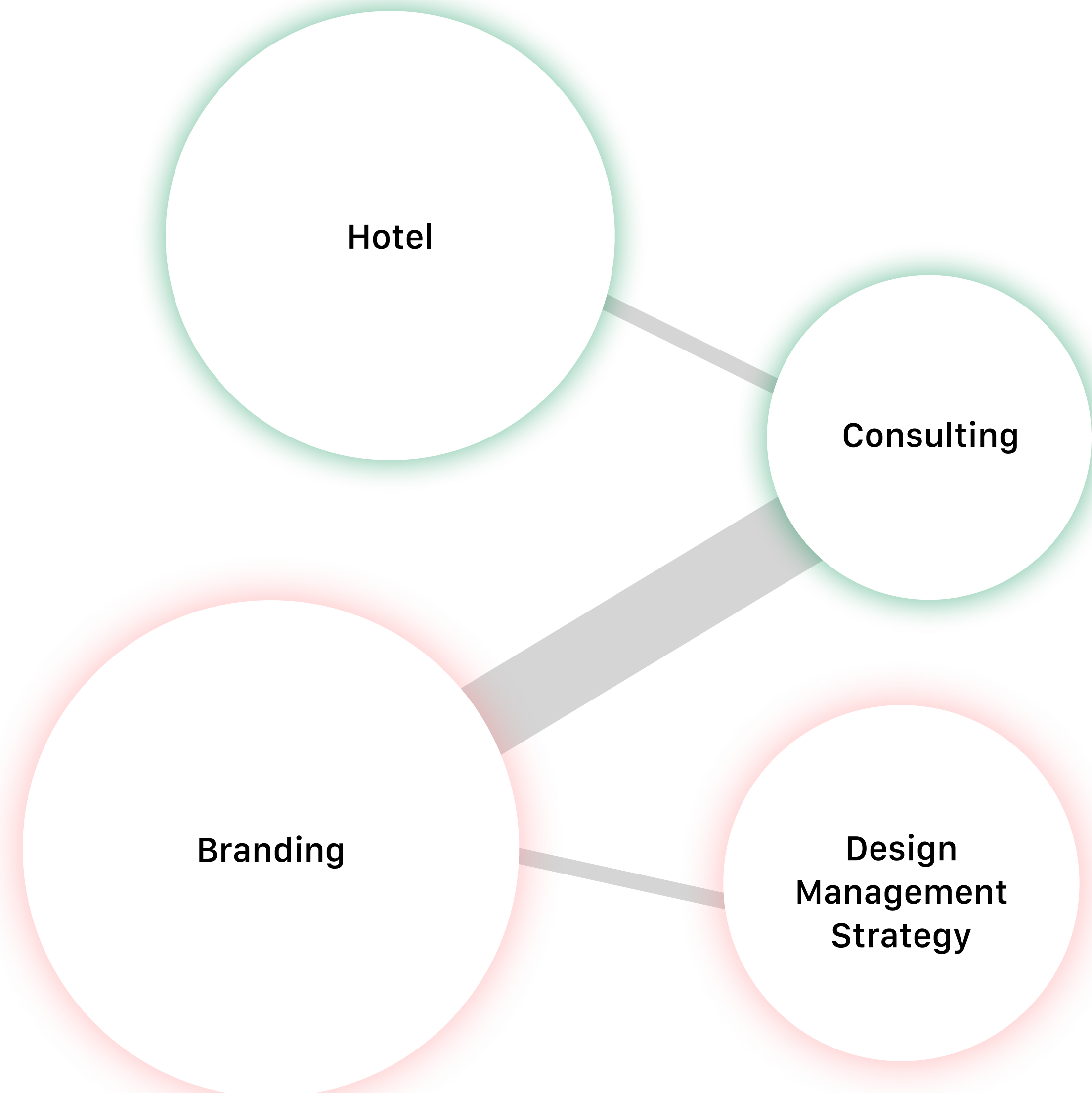
## Approach

### 01

## 企画・運営と、クリエイティブが ひとつのチームになっています。

グループ会社であるLinnas Designは、ホテル運営を基軸にしたまちづくりを行っています。MiKSはLinnasと密なコミュニケーションをとりながらクリエイティブを切り口とした伴走をすることができます。

Linnasを含め、制作とクライアントの橋渡しとなり戦略的な企画から実制作までお手伝いいたします。



# アプローチ

## Approach

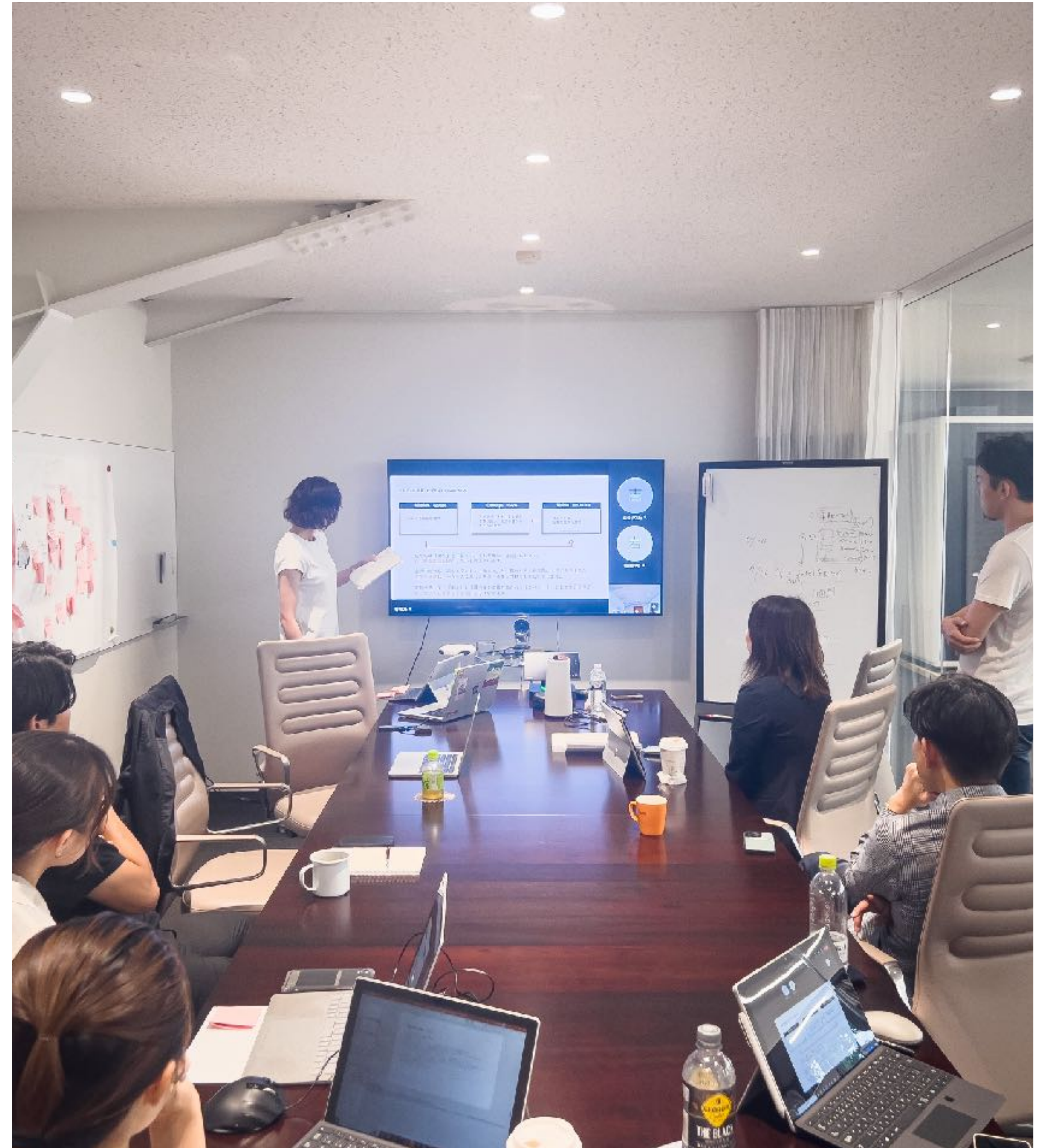
### 02

## なぜ？を問ひかけ、 本質を考えます。

社名由来にもなるエストニア語で「Why?（なぜ）」の意味をもつMiKSは、ローカルの当たり前や常識を理解しながらも、本質を問えるデザイナーでありたいと考えています。

クライアントの要望に対して、共になぜ？と会話しながらナラティブに沿ったよりよい在り方を模索します。

愛着をもって見届けることができるデザインを共に生み出していきます。



# アプローチ

## Approach

### 03

## ローカルの感性を、 大切にします。

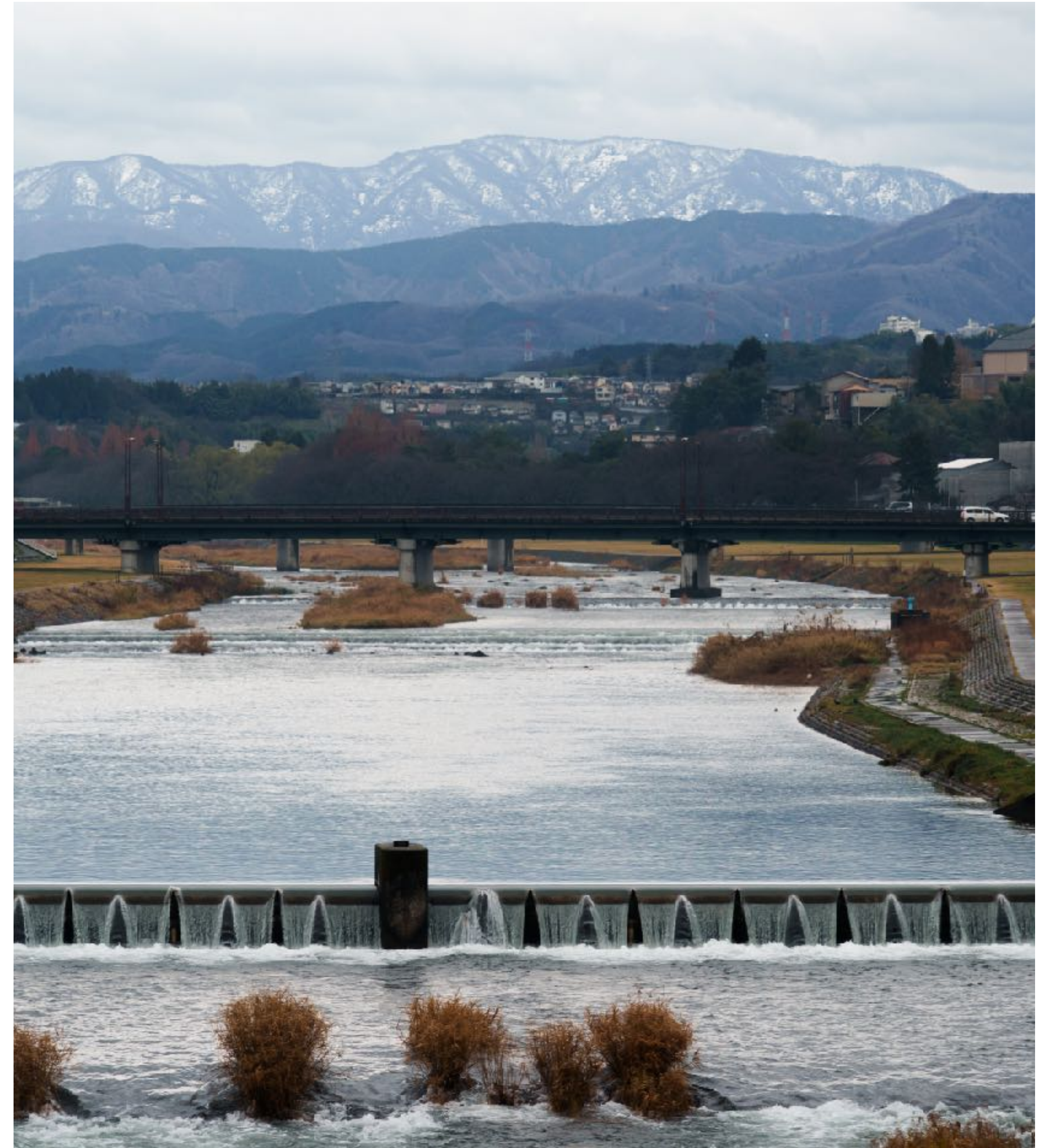
僕らの拠点は、地方都市 金沢です。

戦後の加速度的な経済成長の中心にはなかった金沢をはじめとする北陸には、地方ならではの稀有な商慣習、食文化、美意識、風習がとけこんでいます。

表面的に綺麗なもの、見た目が整ったものが積み重なっただけでは、このカルチャーは残らなかったと思います。

現代に“個性・らしさ”を持ち続けている文化都市金沢で活動することを誇りに思いながら、その感性・美意識を大切にしたいデザイナーでありたい。

地方を諦めない。





# アプローチ

## Approach

### 04

## 垣根を越えて、 価値を提供します。

Linnas Designが運営するホテルのLINNAS Kanazawaは、北欧デンマーク語で「居心地の良い時間・空間」を意味する「ヒュッゲ」がコンセプトのラコミュニティドリブンホテルです。

「衣食住働遊」を今の時代のライフスタイルと考え、「街の中のちいさな複合施設」として、まちの外と中の人たちが垣根を超えて繋がるホテルです。

地域のHUBを創るために、高い志を持ちながら、想いに共感して頂けるプレイヤーと積極的にコラボをし、プレイヤー間のシナジーを生み出します。



Part 03

# Project

実績

## 実績

### Project

# 01 お菓子のセレクトショップ je prends ça

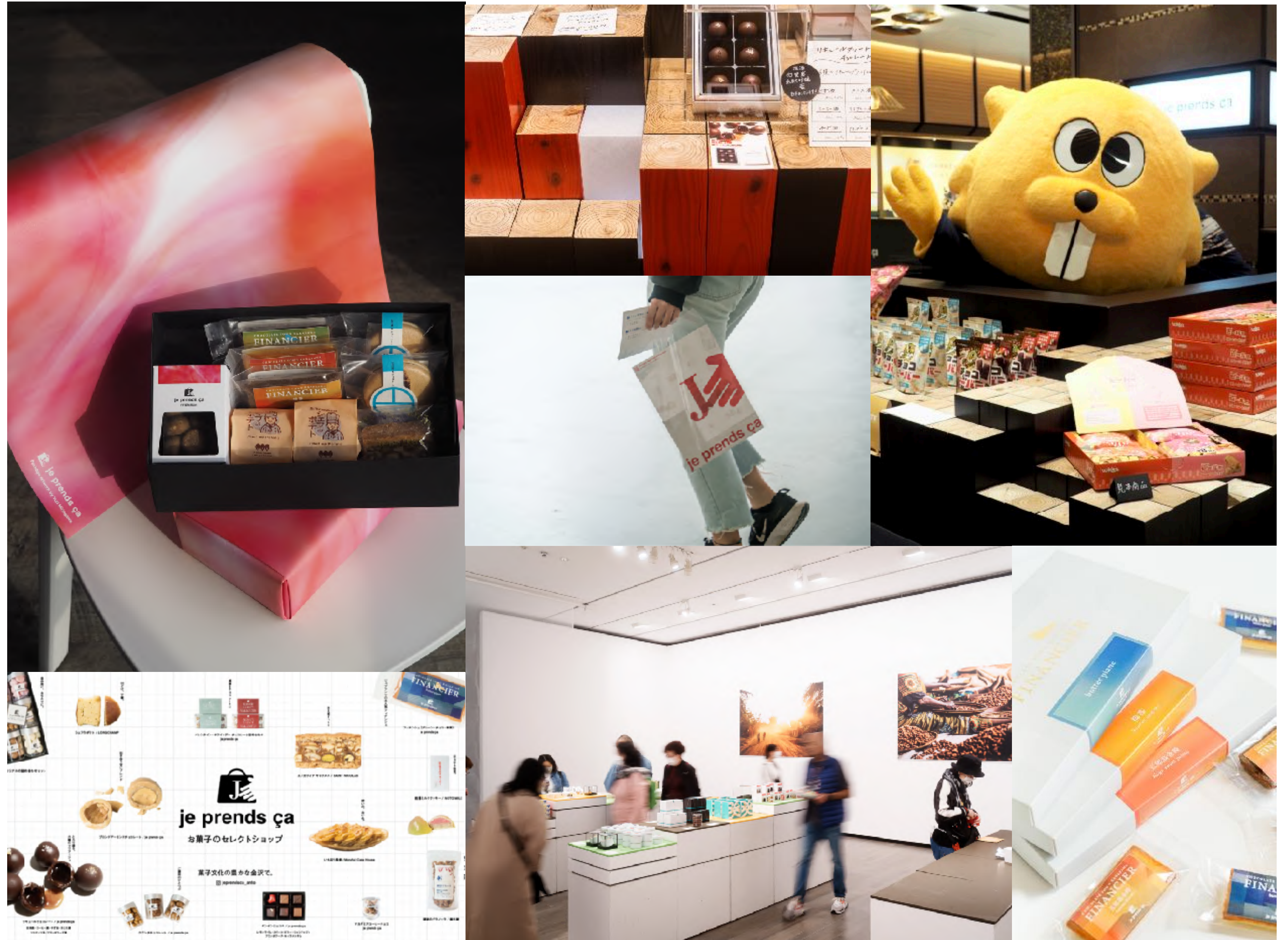
## お菓子がとけこむ日常を目指して

JR金沢駅内に位置する、北陸を中心にした美味しいお菓子を集めたセレクトショップ je prends ça (ジュبرانサ) のインテリアデザイン・コンセプトの再精査から、デザイン制作としてパッケージデザインを中心に、ブランドウェブサイトのデザインを手がけた。ジュبرانサを運営する菓子材料問屋の能崎物産(株)の能崎将明氏と対話を重ね、ジュبرانサのこれまでの活動から今後軸となっていくミッションを策定。2022年からは、チームとしてジュبرانサを運営していくためにプロジェクトメンバーで考え方・目指すべき世界を共有し、定期ミーティングと合わせて経営戦略を探っている。デザインコードには、「お菓子を選ぶ楽しさを表現」として、ポップさと上品さを組み合わせたものとなっている。最近では、ジュبرانサプレミアムというPBラインを設立し、地元アーティストの作品をパッケージに展開するなど、金沢らしさを十二分にアピールしている。小売事業にとどまらず、21世紀美術館企画展ミュージアムショップをはじめとするイベント運営やドラマ・映画撮影などと活動の幅をひろげ、コンセプトの実現を目指している。

### Branding, Shop Design, Package Design, Photograph

Client: Nozaki Bussan

Creative Director : Tsutomu Yoshizaki (MiKS)



# 実績

## Project

### 02 #CTK

#### チョコレートの街 金沢

全国でも屈指のチョコレート消費量を誇る石川県金沢市（家計調査によると全国1位）を背景に、#CTKをスローガンに金沢チョコレート文化の発信が企画された。企画のひとつとしてドラマによる文化発信を、新垣里沙主演のもと『鈍色ショコラヴィレ』が撮影された。2023年にはシーズン2となる『鈍色ショコラヴィレ ビエンナーレ』が中田乃愛主演で映画化されている。ロゴを始めとするフライヤー、フォトビジュアルなど広報パートのアートディレクションを担当した。

年間降雨量が全国トップクラスの金沢だからこそ、根付いてきた食文化がある。メインビジュアルには鈍色の空に鮮やかな色が拡がっていくようなカラーリングで表現し、ドラマ・映画のテーマのひとつ「金沢の食文化を紐解く」ということを表現している。リアルイベントではドラマ内の挿入歌を生ライブするイベントも企画され、主演の新垣里沙さんを始めとする豪華メンバーが会場を沸かせた。そのほか地域へとチョコレートカルチャーを根付かせる活動が#CTKの目的のひとつでもあることから、チョコレートパッケージを金沢のデザイン専門学校とコラボしたものや、地方企業とのコラボ商品も実際につくられた。

Branding, Art Direction, Photograph

Client: Chocolate Town Kanazawa  
 Creative Director : Tsutomu Yoshizaki (MiKS)



# 実績

## Project

### 03 那須 サウナ付貸別荘 rinne

北欧サウナから、身体感覚を思い出す。

LIFULLの遊休別荘価値向上プロジェクトの第一弾として3Dプリンタを用いたデジタル木材加工技術で組み立てたサウナユニットを開発し、「プライベートサウナ付貸別荘 rinne」の運営を開始に伴う、ロゴデザイン・ネーミング・LP制作・コピーライティングをはじめとする、ビジュアル領域におけるブランディングデザインを手がけた。ブランド名にもあるrinneには2つの意味、輪廻転生と坂が込められている。LIFULL幸田氏のフィンランドサウナを原体験として、自然の豊かさを思い出すデザインロゴを考えた。現代のデザイン手法のひとつとしてイラストレーターといわれるアプリケーションで作図することが多く、に取り込みながら仕上げを作っていくことが多い。対話のなかで「サウナは季節を感じる」「身体感覚の豊かさ・手触り感」というワードにフォーカスし、【紙を破る】という身体行為からそれを表現しロゴデザインに落とし込んだ。LIFULLが日本全国に遊休している別荘地の可能性を掘り起こすプロジェクトの第一弾に関われたことはとても意義のあるプロジェクトであった。

Branding, Sign Design, Photograph

Client: LIFULL Co., Ltd. Yasutaka Koda  
 Creative Director : Tsutomu Yoshizaki (MiKS)  
 Architect: VUILD inc.



ありのままを思い出す。  
 折り合いをつけずに、愉しむ貸別荘。

rinne (リンネ) 2nd living は、貸別荘・プライベートサウナを取り入れたもうひとつのリビングを提供するサービスです。

折り合いをつけない旅。  
 - おいしいごはんをつくる、  
 - 自然のデッキサウナでゆっくり、  
 - そして、うんと笑って語りあう。

心を裸にして、楽しい時間を通じてありのままを思い出す。  
 家族・お父さん・お母さん・友人・仲間・恋人、  
 それぞれが思いっきり愉しむことができる、もうひとつのリビング。

都心の喧騒からはなれた別荘地、那須塩原。  
 本当の豊かさってなんだっけ? と考えたい大自然。

rinne (リンネ) 2nd living は、  
 ありのままを思い出す、折り合いをつけずに愉しむ貸別荘。



LIFULLが空き家を購入  
 プライベートサウナ付き貸別荘としてバリューアップ

築古別荘 空き家



リノベーション  
 a-tech

宿泊事業



貸別荘運営管理  
 藤和那須リゾート

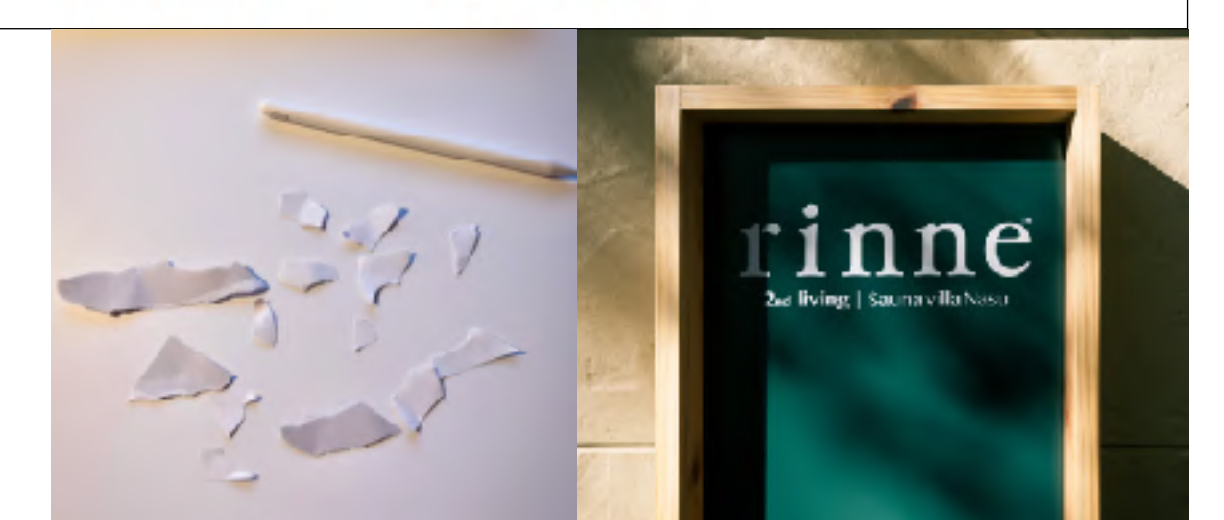
サウナユニット共同開発  
 LIFULL × VUILD



宿泊利用

NasuconValley

実証実験フィールドとして活用  
 SOMPO Light Vortex  
 ナスコンバレー 参画企業



# 実績

## Project

### 04 金澤コーヒーフェスティバル

#### 金沢を、日本イチのコーヒーの街にしたい

金沢駅もてなしドーム地下で行われた金澤コーヒーフェスティバル2023のクリエイティブディレクション。ロゴをはじめとするヴィジュアルデザインからコンセプトの言語化、デザインパートの進行管理を行った。金沢のコーヒー消費量が全国的にトップクラスという背景から、食文化豊かな金沢をより楽しむ切り口のひとつとして「金沢を日本イチのコーヒーの街にしたい!」と掲げて開催。最先端の多様性あふれるコーヒーを金沢で楽しんで欲しいという思いから、お呼びするコーヒーショップは東京から九州・そしてオーストラリアといった県外店舗のみとしながらも、コーヒーにあわせるお菓子には金沢を拠点にしているお店に参加して頂いた。コーヒーといえば、金沢。そんな街になっていくことを目指している。ムービングロゴからも伝わってくるように、KCFのロゴは金沢駅地下からコーヒーの香りが立ち込めてくるようなイメージからデザインし、コーヒーの色と金沢鼓門の色をビビッドなオレンジとして表現した。ロゴマークは入場シール、イベントグッズ、パンフレット、チケット、展示空間、コーヒーカップ、全てに展開することで開催当日は金沢の街がオレンジ色に染まった。一時は二時間半待ちの行列ができた二日のべ五千人の来場者が金沢の街へと出掛けてもらうために、地域の大型イベントと連動広報や金沢の楽しみ方を記載したリーフレットを配るなどのデザインの仕掛けを試みた。

#### Branding, Project Management

Client: Kanazawa Coffee Festival  
 Creative Director : Tsutomu Yoshizaki (MIKS)



## 実績

### Project

## 05 クタニの道具展 TOOL

### 道具からみる、九谷焼の旅

石川県を代表する工芸のひとつ、九谷焼。小松市・能美市が共同して2019年から今年で4回目の開催となった「九谷焼の祭典 KUTANism」と同時開催する『九谷の道具展』の、ロゴデザインをはじめとする展示空間のクリエイティブディレクション、デザイン制作を手がけた。建築家隈研吾氏が設計した小松市セラボクタニを舞台に、九谷焼の制作過程でつかわれる『道具』に着目した展示TOOLでは、5のセグメントに分けた展示構成となっている。九谷焼の「道具」をフォーカスするために展示内容に華やかな装飾は必要ないと考え、床の矢印に沿った形で「石・土・形・窯・絵」の5パートに分けた工程を、器と共に追いかけてながら「九谷焼の旅」を体験できるような展示構成とした。入口を入ると、セラボクタニの床に記された矢印を追っていき、大人にとっては教養としての九谷焼、子供にとっては矢印を追いかけるワクワクを演出。5つのセグメントを追って展示を進んでいくと、すっかり長い旅を終えたような気分になり、最後にはロゴマークにあった5つの三角形の意味が分かるようにデザインの仕掛けを織り交ぜた。九谷焼には九谷五彩といわれる絵付けに使われる5色の色があり、セラボクタニは内装が「土」にフォーカスされた黄土色であるため、五彩色の中でも捕色ともいえる「紺青色」を選定し、各セグメントが一目で認識できるようにデザイン。

### Exhibition Design

Client: Notice, Komatsu-City

Creative Director : Tsutomu Yoshizaki (MiKS)



## 実績

### Project

## 06 沖縄コザスタートアップ商店街

### 心の声に耳を傾け、情熱に挑む場所

沖縄県沖縄市コザ地区。「心の声に耳を傾け、情熱に挑む場所」をコンセプトに、県内外の挑戦する意欲を持った人が集まるオープンイノベーション拠点「コザスタートアップ商店街」のビジュアルアイデンティティのディレクション+デザイン制作を手がけた。持続的に成長可能なビジネスを生み出すことを目的に、オフィススペースの提供、セミナーや交流会の開催、起業経験者・専門家による事業創出支援などで新たなビジネスを後押しするプロジェクト。キャッチーなイメージを前面に押し出す紫色は、コザで70s~80sに活躍したオキナワンミュージックを代表する「紫」のソウルを表現し、コザのネオン・ミュージックカルチャーの雰囲気を醸成。さらに、コザ地区の街並みの“ストリート感”を表現するようにポップなタイポグラフィで構成し、商店街フラッグなど様々なツールが紫のポップロゴへと染められた。

### Art Direction, Branding

Client: Link and Visible

Creative Director : Aki Matsushita (MiKS)

Art Direction : Tsutomu Yoshizaki (MiKS)





# 実績

## Project

### 07 山岸製作所 名刺ワークショップ

#### 社員ひとりひとりに経営者・デザイナー思考を

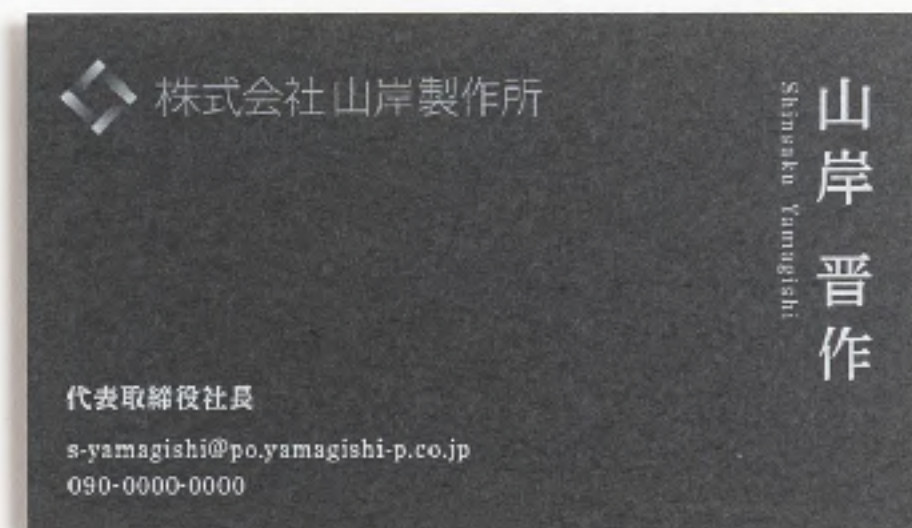
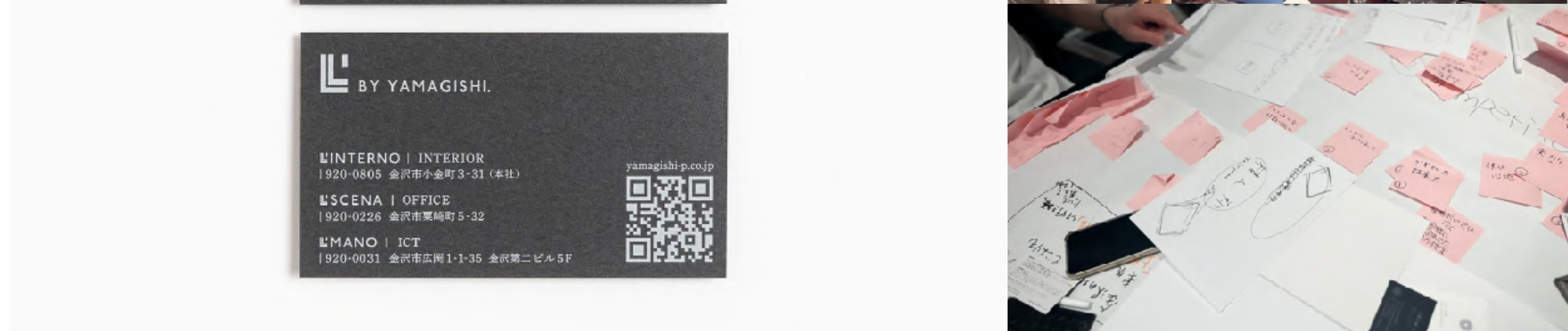
金沢、北陵を中心に家具販売からオフィスデザインなどをに、「家具を通じてひととして輝ける時間づくりをサポート」をコンセプトとする「山岸製作所」の名刺デザインを行なった。ビジュアル先行で名刺をデザインするのではなく、ミッション・ビジョン・コンセプト（以下MVC）を軸にして社員の皆さまと全4回のワークショップを行いながら、短期的なアウトプットのひとつとして名刺デザインを行なった。ワークショップは7名の社員+MiKSから2名の計9名で行い、初回では「導入と発散」と題し、既存名刺の情報や使われ方についてブレインストーミング的にフィードバックから、名刺交換で起こしたいコミュニケーションなどを考えた。第二回では「情報の整理と考察」とし、経営者目線でMVCを考えるなかで会社の目指していく方向性を探った。第三回では「視点の導入」とし、別角度からMVCを導きながら名刺のレイアウトデザインをラフスケッチで書き起こした。第四回では「整理情報のアウトプット」とし、これまでの回をまとめたものをプレゼンすることで社員の各個人がより情報を整理できるような機会を設けた。当初、名刺制作でご依頼いただいたがヒアリング・問診をかさねるなかで解決の本質は"デザイン思考"にあると考え、制作過程に重心を置いたワークショップを元にした名刺制作の提案を行ない、本質的に名刺というビジネスツールを考えることが出来る機会となった。

#### Communication Design, Art Direction

Client:YAMAGISHI.Inc.

Creative Director : Aki Matsushita, Tsutomu Yoshizaki

Art Direction : Tsutomu Yoshizaki (MiKS)



# 実績

## Project

### 08 広島安芸津 歳實コーヒー

#### 瀬戸内の空気感を香りにのせて

瀬戸内海に面する穏やかな空気感が漂う広島県安芸津町の自家焙煎のコーヒーショップ「安芸津歳實コーヒー」。店主の歳實氏は、安芸津町の瀬戸内海に点在する7つの島々にまつわる伝説を後世に伝え続けたいという想いでつくった、コーヒードリップバッグセット「瀬戸内安芸津七島巡」のコンセプトからパッケージデザインをお手伝いした。今回、トータルディレクターとしてMiKS inc.のパートナーでもあるArchTankの林恭正氏と共同で歴史や風景のリサーチを重ね、安芸津町の空気感が香りと共に伝わるようなものをテーマにして考えた。今回のデザインにあたり、まずは安芸津町にコーヒーを切り口とした興味を持ってもらうという比較的ライトな影響を与えたいと考え、歴史を文章として伝えるのではなく写真やグラフィックとして「空気感」を伝えることにした。安芸津の七島を描いた風景をもとに、7種類のコーヒーに合わせて色味を変更して各商品のビジュアルによる差別化を行なった。さらに、安芸津町の入念な現地リサーチを経て、同町に点在する「色」を抽出した固有色を設定した乗を同封することで、空気感をコーヒーと共にお届けする仕掛けを採用した。安芸津の豊かな土壌と水を赤色と青色として表現し、パッケージには安芸津町の湾を一望した写真と共にその空気感を伝えている。窓抜きされている箱には、同封リーフレットデザインを変えることで空気感をフレキシブルに変えていける仕掛けとし、今後の展開が楽しみなプレイヤーが集まりつつある安芸津町の変わっていく様に対応できるようにした。同店の建築設計を行なった林氏が建築分野でないところまで越境し、トータル的にディレクションを行うことで、より強固なブランドになっていくことを強く感じる共同プロジェクトとなった。

#### Communication Design, Art Direction, Photograph

Client : Toshizane Isao, ArchTank inc.

Creative Director : Yasumasa Hayashi (ArchTank)

Art Direction : Tsutomu Yoshizaki (MiKS)



Part 04

# Member

メンバー

# メンバー

## Member

吉崎 徹

### 代表取締役 / クリエイティブディレクター / デザイナー / 写真家



金沢生まれ。新潟大学岡崎・松井都市計画研究室で建築デザイン・都市計画を学んだのち、地元金沢の企業にて店舗設計を中心に、サインやディスプレイなど商業空間のデザインに実践的かつ包括的に携わる。並行して、2017年に個人デザイン事務所 zakkeroni designを設立。2022年春に法人化。株式会社 Linnas Design と協働で株式会社MiKSを立ちあげ、クリエイティブの領域を広げる。

#### 受賞・掲載（前職担当物件含む）

2017 金沢市観光課公式観光ポスター（東京駅・金沢駅に設置）

2019 イタリア政府観光局写真コンテンツ「最優秀賞」

2019 いしかわインテリアデザイン 「理事長賞」

2019 石川広告景観賞「金沢市長賞」

2019 石川県デザイン展 「商工会議所会頭賞」

2020 商店建築12月号「安芸津歳實珈琲」

2020 TURNS44「佛子園」

2020 いしかわインテリアデザイン 「小松暁一記念賞」

2022 Zouss1-3月号「カレーコラム Spicy's Life」寄稿

2022 いしかわインテリアデザイン 大賞「石川県知事賞」

#### 展示

2017 ゆとりの写真展 主催

2017 なんでもない特別な写真展 主催

#### 所属

ArchTank 2023年 参画

Tsutomu Yoshizaki



## メンバー

Member

松下 秋裕

取締役 / ブランドディレクター / ホテルプロデューサー



1990年東京生まれ。中央大学法学部卒。学生時代にエストニア タリン大学に1年半留留学。大学卒業後ジョーンズラングラサール株式会社にて不動産運用業務に従事。

2015年10月、ホテルベンチャーのエンブレムホテル株式会社にて一号社員として入社。新規宿泊施設開業4件に携わり、全施設のマーケティング、採用、運営統括などホテル運営の幅広い業務を経験する。

2020年11月に独立し、場のプロデュースとコミュニティデザインを行う株式会社Linnas Designを設立。2021年4月に一号店となるライフスタイルホテル『LINNAS Kanazawa』を金沢に開業。趣味は旅で、世界64カ国に渡航。

WEB / [Linnas Design inc.](#)

WEB / [LINNAS Kanazawa](#)

WEB / [S-TOKYO](#)

Akihiro Matsushita



# メンバー

Member

## MiKS Friends

パートナーとして協業するメンバーを探しています。

MiKSでは、プロジェクトごとの個性を最大限に掬いたいと考えています。  
そこで、相互の理解と価値観を築いていくパートナーを探しています。

人材に限りのあるローカルでは、  
クリエイターのつながりはきっと、きっと強いチカラとなって街に還元することができます。

ぼくたちが住む街を、関わる街を、よりよいものへと進化させていきます。



*MiKS inc. creates creativity to make Linnas' "We Design The And Place."  
Brighter with local culture.*

Part 05

# Company

企業概要

# 企業概要

## Company

会社名	株式会社MiKS (ミックス)
代表者	代表取締役 吉崎 努   取締役 松下 秋裕
設立	2022年 4月
資本金	200万円
関連会社	株式会社Linnas Design
本社所在地	石川県金沢市本多町 ※詳細な住所はお取引様のみご開示とさせていただきます
東京オフィス	東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 S-TOKYO 3F
事業内容	デザイン、デザインコンサルティング・ディレクション業務、企画
ウェブサイト	<a href="https://miks-inc.com/">https://miks-inc.com/</a>



# 企業概要 | 取引実績 (2024.3月現在 一部)

## Company



## 企業概要

### Company

どのような予算・規模のご相談内容でもご質問など気軽にご連絡ください。

何から始めて良いかわからない場合なども、まずはご相談ください。

よくあるご質問

[www.miks-inc.com/contact](http://www.miks-inc.com/contact)

